

「秩父市ドローン社会実装コンソーシアム」設立総会 議事録（概要）

0. 開催概要

日時：令和6年9月20日（金）15：30～17：00

場所：秩父市役所 地場産産業振興センター5階 501号室（オンライン併用）

出席者 参考資料「秩父市ドローン社会実装コンソーシアム」設立総会 参加者名簿
（配布資料）

【資料】秩父市ドローン社会実装コンソーシアム

1. 開 会

司会：改めまして、皆さん、こんにちは。

本日は、お忙しいところ、「秩父市ドローン社会実装コンソーシアム」設立総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。先ほどに続きまして、進行を担当いたします。秩父市 産業観光部 先端技術推進課の笠井でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

それでは始めに、秩父市長 北堀 篤 よりご挨拶を申し上げます。

2. 市長挨拶

秩父市長 北堀 篤：皆さん、こんにちは。秩父市長の北堀 篤でございます。

先ほどのコンソーシアムに続いてご参加の方も大勢いらっしゃいますが、「秩父市ドローン社会実装コンソーシアム」設立総会の開催にあたり、約30の法人会員、金融機関や支援機関、国や埼玉県、自治体などのオブザーバーが約20団体とお聞きしておりますが、多くの皆さんにご参加をいただき、誠にありがとうございます。

オンラインの方もいらっしゃいますが、80人を超える方にご参加をいただいているとのことで、秩父市として過去にない多くの皆さんが集う会議体となりました。心から、御礼を申し上げます。

さて、秩父市では、約8年にわたり、多くの民間事業者の皆様と協力してドローンを活用した取り組みを行ってまいりました。令和2年度からは国の交付金を活用した「ソサエティ5.0事業」でドローン配送等に取り組み、令和4年度には、市内山間地域の中津川地区における県道の土砂崩落に伴い、孤立の危機にあった住民に対して、通信衛星「スターリンク」を活用した国内初となるドローンによる定期配送も実施してまいりました。孤立した集落の方々へも物資を届けることができ良かったと感じています。これらの取り組みを進めてきたこともあって、この度、政府が進める「デジタル ライフライン全国総合整備計画」のアーリーハーベストプロジェクト「ドローン航路」整備の先行地域として、

静岡県浜松市さんとともに全国で2か所選定されました。

当市では、本年4月から取り組む「第3期の総合戦略」の中にも位置づけ、今後、国と連携してデジタルライフラインの整備を進めていくことを明記しています。

私は、このドローン航路整備の「先行地域」に選ばれたことを絶好の機会と捉えておりまして、ドローンの活用がいよいよ社会実装に進めてきたタイミングが来たと感じております。

本コンソーシアムにおいて、それぞれの知見や技術を存分に活かし、積極的かつ主体的に関わっていただき、また、「産学官金民」、金は金融機関の皆様、これらの皆様が連携することにより、ドローンを中心とした先端技術を活用して、課題解決を図り、サービスの社会実装や、新たな事業の創出につなげていただきたいと思います。

先ほども少し紹介したが、全国有数の知見を有する理化学研究所さんに関わりを持っていきたいと埼玉県議会議員の時代から温めていました。まさに国の最高機関、最高の頭脳集団、知的財産の集団であり、富岳のスーパーコンピューターを作ったのも理化学研究所さんです。将来は、こうした技術を持った方々と地域の民間事業者が先端技術を活用させていただきながら、地域おこしを進めていきたいと思っています。

本日はいろいろな方々がいらっしゃるの、忌憚のないご意見を賜ればと思います。

また、理研の先生方とも機会があれば、名刺交換もしていただければありがたいと思っています。本日のコンソーシアム設立総会の開催にあたり、多くの皆様のご理解とご協力をいただきましたこと、改めて御礼を申し上げ、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。皆様、どうぞ、よろしく願いいたします。

司会：市長は、別の公務により、ここで退席させていただきます。

3 内容

(1) 設立趣意書・規約の承認

司会： 続きまして、早速ではございますが、議事に入らせていただきます。議案第1号から3号にそって、それぞれの議事の説明、質疑応答を経て、議決を図りたいと存じます。まず、「議案第1号の設立趣旨書、規約」について「秩父市 産業観光部 先端技術推進課 山中から説明いたします。

秩父市 山中主査： 改めまして、皆さんこんにちは。秩父市先端技術推進課の山中です。それでは、議案の1号から説明させていただきます。

【資料】秩父市ドローン社会実装コンソーシアム にて説明。

コンソーシアム設立の背景としましては、市では2016年からドローン活用の検討を開始し、技術実証期、実装検証期、社会実装期というフェーズを経てドローンの取り組みを行

ってきました。今回、ドローン航路の先行地域に選定されたことを契機に、社会実装期に移行するという事で、地元の運用体制を見据えた体制強化のためにコンソーシアムの設立を決定した次第です。

コンソーシアムの概要についてですが、そういった思いから名称を秩父市ドローン社会実装コンソーシアムとし、略称 CDC (Chichibu Drone Social Implementation Consortium) とさせていただきます、設立日は本日の 2024 年 9 月 20 日としています。会長は、当市の市長である北堀 篤とさせていただきます。また、会員数は本日付けで法人会員 28 社、オブザーバ 19 団体となっており、事務局は秩父市 産業観光部 先端技術推進課が務めさせていただきます。

次にロゴマークについてですが、皆様に親しみをもらうために作製し、コンソーシアムの略称である「CDC」を組み合わせ、ドローンのシルエットを構成しております。

続きまして、7 ページ目の設立趣意になります。先ほどの市長からの言葉でもありますが、市では、令和 6 年 4 月から開始した「第 3 期秩父市総合戦略」の基本方針と基本目標において、「デジタルライフライン全国総合整備計画」をきっかけとして、地域のデジタルライフラインの整備を国等と協力して実施していくことを明記しており、4 つある基本目標の 1 つに「多様な企業支援により安定した雇用を創出する」を達成するための具体的な事業として、ドローンなどの先端産業分野の育成及び事業・産業誘致に向けた取り組みを推進することと明記しております。また、官産学金民の 5 つのステークホルダーによる連携において、積極的かつ主体的な参画を促し、ドローンを中心とした先端技術を活用した各サービスの社会実装による地域課題の解決を図り、先駆的で持続可能なまちづくりを実現させることを目的に設立するという趣意とさせていただきます。

続きまして、8 ページ目の規約になります。規約についてはこの中を抜粋して説明させていただきます。まず、活動内容については、第 3 条に掲げる次の 6 つとなっています。

(1) 会員主導によるドローンの利活用をはじめとしたプロジェクトの創出支援、(2) 実証フィールドの提供等、会員による実証実験や社会実装に向けた取り組みへの支援、(3) 会員間の情報共有及び連携促進に関する活動、(4) 分科会の開催等による知識向上に関する活動、(5) 先駆的なまちづくりのための事業化支援、交付金等の申請準備、(6) その他コンソーシアムの目的達成に資する活動 ということ で 6 つの活動を記載させていただきます。

次に、第 11 条の会費等について、今年度は無料。ただし、令和 7 年度以降は有料を検討すると表記させていただきますが、有料化が決定しているわけではなく、皆さまと事業を進めていく中で、今後協議させていただければと思います。

次に、第 14 条の作業部会ですが、事業の目的を達成するために必要な取組を検討、推進するための作業部会を設置することができるとあり、賛同いただける会員さんで構成して進めていければ、非常にありがたいと考えております。全部で 19 条すべて読みませんが、目を通していただきまして、皆様のご意見いただければと思います。

司会：補足ですが、規約については、ご承認をいただければ暫定的にスタートさせていただきたいと思いますが、特に、第4条と第11条については、会員と会費のことにもなりますので、今後、ご意見をいただく中で、柔軟に対応してまいりたいと思います。ただ今の内容について案ということで、ご質問・ご意見がある方はございますか。

浜松市チャットにて：議決権について、会員とオブザーバ両方とも議決権を認めるのか。

(一社) ちちぶ結まち 深田：他のコンソーシアムの事例だと、オブザーバには議決権を認めていないケースが多いので、分けてもらい、一般会員さまのみ議決を持つ形でよいと思います。

秩父市 笠井課長：会員のみ議決権を持たせるように、規約を修正し、後日規約のみの文書で全体に共有させていただきます。

司会： それでは、第1号の議案について、一部ご意見いただいた点を修正したもので承認される方は、会場の方は拍手、オンラインの方は、挙手ボタンを押してください。

→ 賛成多数とみなし、一部修正させていただく議案を可決いたします。

(2) 2024年度実施計画の承認

司会： 続きまして、「令和6年度 実施計画」について、同じく、山中から

秩父市 山中主査：引き続き、議案の2号について説明させていただきます。

【資料】秩父市ドローン社会実装コンソーシアム にて説明。

コンソーシアムの位置づけについて、消滅可能性都市に秩父市が位置づけられてしまったことからそこからの離脱、先駆的で持続可能なまちづくり実現に向けて産官学民の5つのステークホルダーが総力体制で本気で実現していきたい。本コンソーシアムは、民間企業の技術や知見を活用し、サービス社会実装の出口となる機能を担うといった枠組みで考えています。

官の部分、こちらは市役所を中心とした消防、警察、関係機関等で常に抱えている行政課題があり、この課題を産の部分である秩父市ドローン社会実装コンソーシアムであったり、先端技術まちづくり実現コンソーシアムの様々なサービスに関わっていただく。次に学の部分では、秩父市には大学はないのですが、研究機関との連携や先ほどから話の出ている理研 CRAT プロジェクトとの連携、有識者からのアドバイスといった面で協力していければと考えております。次に、金の部分ですが、地方銀行、信金さん、信組さん等の各金融機関には、官民連携のマッチングイベントやスタートアップ融資などに取り組んでいただいておりますが、金銭面でのバックアップをしていただく機会があればありがたいと考えています。最後に民の部分ですが、市民団体、市民活動とありますが、行政だけで抱

えている課題だけではわからない部分があり、市民の声の集約、そのこの団体での考え方を産にぶつけてもらったり、5つの部分がそれぞれリンクしてサービスを展開していく位置づけができればよいと考えています。

具体的に何をどう進めていくかというビジョンを3つの重点施策ということで挙げさせていただきました。コンソーシアムの最終ゴールを一旦、令和10年に置きまして、『消滅可能性都市からの離脱、先駆的で持続可能なまちづくり実現』を目標とし、KPIを3つ設定させていただきました。

KPIの一つ目として、ドローン関連サービスの運用開始について、導入サービス数を10以上とする。二つ目として、社会実装の仕組みとルール（エコシステム）の構築として、スタートアップ数を5以上。三つ目のドローン以外の先端技術を含めたサービス実装への進展として、対象分野を10以上を設定させていただいております。

そして、この目標を達成するための重点施策として、3つ挙げさせていただきました。一つ目として、「コンソ内外の連携強化」を挙げていまして、コンソーシアム内に留まらず、外部機関やプロジェクトとの連携を強化し、イノベーションが生まれやすい環境を生み出すということで、部会の定期開催といったことを考えています。

二つ目が「地元若手人材の育成」としては市から新産業やスタートアップを生み出すため、特に経営者や運営を担う若手人材を育成する仕組みを提供していくことを考えております。その中で、大学研究室や高校との連携、ドローンスクールの開校、スタートアップ融資制度の創設といった取り組みとなります。

三つ目は、「成果の対外発信」として積極的に成果を対外発表し、市外へのサービス横展開する。また、会員のモチベーション向上を図り、コンソーシムの参画意義を明確化できればと考えております。具体的なこととすると、ドローンサミット等の大規模イベントの開催やコンソーシアムのホームページ上で会員企業の保有シーズを紹介できればと考えております。

今年度は、地元へのニーズヒアリングと法令や技術等の外部環境を踏まえ、社会実装により近い領域である「物流」「点検」「空撮」を重点検討分野とさせていただきたいと思えます。ただし、この3つの分野だけでなく、今後会員さまからのシーズ提案を踏まえて、他の分野も検討範囲とすることも可能とする方針です。

司会： ただ今の内容について、ご質問・ご意見がある方はございますか。

司会： それでは、第2号の議案について、承認される方は、会場の方は拍手、オンラインの方は、挙手ボタンを押してください。

→ 賛成多数とみなし、本議案を可決いたします。

(3) 運営体制の報告

司会： 続きまして、「運営体制」について、同じく、山中から説明いたします。

秩父市 山中主査：引き続き、議案の3号について説明させていただきます。

【資料】秩父市ドローン社会実装コンソーシアム にて説明。

運営体制になりますが、秩父市ドローン社会実装コンソーシアムを核として、産学官金民との連携や、関係省庁・埼玉県・周辺自治体との連携、NEDO 事業との連携、ACDC との連携しながら進めていきたい。

3つの重点分野「物流」「点検」「空撮」の部会を設定しますが、部会を立ち上げ主査とし主体的に主導していただく民間事業者をリーダーとし、興味のある部会に皆様にそれぞれ参加いただき部会を運営していきたい。各部会への参加はこの後でも説明させていただきますが、期日を決めましてコンソーシア会員の皆様に興味のある分野の部会に入っていただくことを想定しています。

まず、主査ということで部会を引っ張っていてもよいという事業者がありましたら、ご発言いただければと思います。

【立候補事業者】

○物流部会：主査 → KDDI スマートドローン（株） 森嶋部長

○空撮部会：主査 → 公立はこだて未来大学 西沢 様

○点検部会：主査 → 当日の立候補なし

点検部会については、後日に立候補の連絡をいただくか、個別に相談して当たらせてもらう。

司会：次に運営体制のアドバイザーボードについて説明させていただきます。本コンソーシアム設立にあたっては協力いただいている方がいます。

まずは、一般社団法人日本防災プラットフォームの副代表である高田様です。高田様は秩父市の行政推進アドバイザーやデジ田交付金事業の際にもアーキテクチャを務めていただいております。

もう一方は、一般社団法人ちちぶ結いまちの深田代表様ですが、デジ田交付金事業のアーキテクチャとして意見をいただいたり、本事業でもご意見をいただいております。

もう一人が、国土交通省 総合政策局の社会資本経済分析特別研究官である小林様ですが、多方面から国交省事業等について様々なアドバイスをいただいております。

司会：ただ今の内容について、ご質問・ご意見がある方はございますか。

司会：それでは、第3号の議案について、承認される方は、会場の方は拍手、オンラインの方は、挙手ボタンを押してください。

→ 賛成多数とみなし、本議案を可決いたします。

(5) 会員紹介

司会：続きまして、本コンソーシアムにご参加いただいた皆様から一言ずつご挨拶を頂戴
いただきたいと思います。1団体1名様、代表者様が発言ください。

法人名、ご所属、お名前、本コンソーシアムでの今後に向けての意気込みなどを、大変恐
縮ではございますが、お時間の都合もありまして、お1名様1分程度で、お願いいたしま
す。順番は、会場の方から始めさせていただき、オンラインでご参加の方は、名簿順で進
めてまいります。私からご案内させていただきます。

それでは、会場のアトラックラボ 伊豆社長様から、1分以内で、順次よろしくお願
いいたします。

名簿順に沿って各法人団体が発言。

司会：皆様、お時間が少ないところではございましたが、ありがとうございました。皆様
からお一人お一人から熱いお言葉を頂戴し、今後に向けて非常に心を熱くしました。あり
がとうございました。

(5) その他

司会：続きまして、「その他」に移らせていただきます。会員の皆様へのご依頼事項とな
ります。今年度に設置する3部会に関しては、参加の意思表示があった会員にご参加いた
だきます。参加を希望する部会名、参加者名、シーズ提案や部会への要望事項などを9月
30日までに事務局へご連絡をお願いします。次回の各部会については、10月7日の月曜
日の午後の時間帯で、第1回の各部会をオンラインにて開催します。

4 閉会

司会：それでは、以上で本日の「秩父市ドローン社会実装コンソーシアム」設立総会を閉
会とさせていただきます。慎重審議にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。
引き続き、ご協力を賜りますよう、お願いいたします。本日は、お忙しいなか、誠に
ありがとうございました。